

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立ほづみ幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月1日(金)～11月14日(木)		
実 施 概 要	○友達や家庭、地域の人への挨拶運動 ・園での挨拶運動の取り組みを保護者へ知らせ、園と家庭とが共通理解し、園児に挨拶をする心地よさを感じられる体験を積む。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	375人	計 405人
	地 域 関 係 者	30人	
実 施 状 況	・園の教育方針を具現化し、幼児が理解できる方法として“3つのやくそく”を掲げて園児、家庭に知らせて取り組んでいる。その一つ目に「あいさつをします」が掲げられ、年間生活の中に位置付けている。11月は“あいさつをしよう”強化月間として取り組んできた。  〔教師側の取組の流れ〕 ①教師が元気に笑顔で挨拶をする。 ②教師が率先して挨拶をし、モデルとなる。 ③園児に出会った人を意識させ、挨拶を共にする。 ④進んで挨拶ができた園児を認め、周囲の園児らに広める。 ⑤①～④と同時に園だより、クラスだより、全園朝会にて挨拶運動を啓発する。  ・園児は毎日、交わされる挨拶を意識できる場を作って実施することで、挨拶をすることの気持ちよさを味わい、認められる喜びを感じて進んで挨拶をしようとする気持ちが高まってきた。5歳児は当番があいさつ隊となって、より挨拶を意識し、挨拶をする時に立ち止まって言ったり、おじぎも一緒にしたりする姿が見られるようになった。家庭では園での取組や園児の姿をたよりや連絡帳で伝え、家庭内や登降園時に会う人に挨拶をすることを心がけてもらうよう伝えた。		
成 果 及 び 課 題	・生活の中で教師が挨拶の大切さや気持ちがよいことを知らせることを心がけることで園児の挨拶をしようとする気持ちの育ちがみられた。 ・通信等で挨拶をすることを啓発したことで「挨拶をしようね」と保護者が園児に声をかけて意識してもらえた。 ・まだまだ身についているという段階ではなく教師からの促しが必要であるため、教師からの挨拶を積極的に行い、よいモデルとなっていきたい。 ・園児の挨拶をしようとする姿や育ってきた姿を認め、挨拶をする心地よさを感じられる体験を積み重ねたい。今後も進んで気持ちの良い挨拶ができる心情、意欲、態度を培っていきたい。		